

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月26日

会社名：東レインターナショナル株式会社

上場区分：非上場

URL <https://www.toray-intl.co.jp>

代表者：（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 沓澤 徹

問合せ先責任者：（役職名） 取締役 経営企画管理部長 （氏名） 榎本 浩二

TEL 03（3245）5814

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期の業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	499,349	△16.7%	10,764	△13.3%	13,050	△18.1%	9,318	△16.7%
2020年3月期	599,359	△9.6%	12,422	△11.6%	15,935	△4.1%	11,186	△6.4%

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
2021年3月期	291,140円	38銭	—	—	11.0%	7.0%	2.2%
2020年3月期	349,507円	99銭	—	—	14.0%	8.2%	2.1%

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
2021年3月期	191,258	86,844	86,844	86,844	45.4%	2,713,440円	26銭
2020年3月期	182,190	82,741	82,741	82,741	45.4%	2,585,237円	13銭

（参考）自己資本 2021年3月期 86,844百万円 2020年3月期 82,741百万円

2. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	567,400	13.6%	12,400	15.2%	15,000	14.9%	11,200	20.2%	349,945円	32銭

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	32,005株	2020年3月期	32,005株
② 期末自己株式数	2021年3月期	—	2020年3月期	—
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期	32,005株	2020年3月期	32,005株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

※ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日）が2018年4月1日以後開始する事業年度の期首から適用できることになったことに伴い、当事業年度の期首から収益認識に関する会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

### 【当期の経営成績】

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな打撃を及ぼしました。生産活動・消費行動の停滞に加え、国際的なヒト・モノの移動制限からサプライチェーンも分断されたことで、内外経済は大きく混乱し、大幅な落ち込みを記録しました。7月頃からは、経済活動の再開で先行した中国に加え、欧米においての再開も受け、世界経済は回復に転じていますが、コンテナ物流の世界的な混乱は長期化の懸念が生じています。

このような事業環境の中で、当社は2020年5月から、グループ商事機能の基盤強化と拡張を土台に、自販力の強化と新事業の創出を目指し、2022年度までの3カ年を期間とする中期経営課題“プロジェクトAP-G 2022”をスタートしています。

以上の結果、当期の売上高は前期比 -16.7%減の 499,349百万円、営業利益は同 -13.3%減の 10,764百万円、経常利益は -18.1%減の 13,050百万円、当期純利益は -16.7%減の 9,318百万円となりました。

事業分野毎の状況は以下のとおりです。

#### [衣料素材]

衣料用ファイバーは、国内市況の低迷により低調に推移しました。テキスタイルは、欧米向け輸出を中心に苦戦しました。インテリア分野は堅調に推移しましたが、衣料素材事業全体では、売上高は前期比 -22.9%減の 50,874百万円となりました。

#### [繊維資材・物資]

産業資材は、自動車用途は期後半に回復の動きが見られましたが、原料逼迫の影響を受けて大きく改善はできませんでした。加えて、その他産業用途向けが低調でした。綿花、羊毛、皮革関連も減産による需要減の影響を受け低調に推移しました。この結果、繊維資材・物資事業全体では、売上高は前期比 -21.2%減の 45,021百万円となりました。

#### [アパレル]

大手SPA向け受注減、スポーツ、アウトドア、カジュアルの各分野においても顧客販売不振の影響を受け低調に推移しました。この結果、アパレル事業全体では、売上高は前期比 -8.4%減の 159,787百万円となりました。

#### [樹脂・ケミカル]

樹脂事業は、グループ向け輸出入取引が期後半に回復しましたが、全体の落ち込みをカバーするには至りませんでした。ケミカル事業は、グループ向け原料取引が期後半に回復しつつも、米国寒波の影響を受けた他、溶剤、ゴム薬などの販売が低調でした。この結果、樹脂・ケミカル事業全体では、売上高は前期 -22.9%減の 88,923百万円となりました。

[フィルム]

グループ向け輸出入取引は低調でしたが、テレワークの拡大に伴いタブレットPC、スマートフォン関連の光学用途が堅調に推移しました。この結果、フィルム事業の売上高は前期比 +6.0%増の 40,033百万円となりました。

[複合材料・機材]

複合材料事業は、風車用途が堅調であった他、スポーツ用途、コンポジット製品・部材販売が期後半に回復するも、航空用途は低調でした。機器販売は、グループ向け新增設備機器輸出は堅調でしたが、中国向けを中心とする外販機器輸出は減少しました。この結果、複合材料・機材事業全体では売上高は前期比 -34.3%減の 64,005百万円となりました。

[電子情報材料・水処理・環境]

電子情報材料事業は、有機EL用エレクトロコーティング剤の販売が、期後半、堅調に推移しました。水処理・環境事業は、水処理膜の販売は低調でしたが、浄水器事業は、巣ごもり需要の取り込みにより堅調に推移しました。この結果、電子情報材料・水処理・環境事業全体では、売上高は前期比 +1.2%増の 50,193百万円となりました。

以 上

## 【貸借対照表】

	(単位：百万円)	
	前会計年度 (2020年3月31日)	当会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,755	2,824
受取手形及び売掛金	135,793	144,577
商品	20,260	20,076
その他	14,891	14,258
貸倒引当金	△ 767	△ 1,134
流動資産合計	172,931	180,602
固定資産		
有形固定資産	383	301
無形固定資産	708	741
投資その他の資産		
投資有価証券	4,465	4,858
その他	4,885	5,961
貸倒引当金	△ 1,182	△ 1,206
投資その他の資産合計	8,168	9,614
固定資産合計	9,259	10,656
資産合計	182,190	191,258

(単位：百万円)

	前会計年度 (2020年3月31日)	当会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	80,890	77,235
短期借入金	5,633	10,302
未払法人税等	474	551
引当金	1,004	802
その他	10,471	14,679
流動負債合計	98,473	103,569
<b>固定負債</b>		
長期借入金	33	—
退職給付引当金	332	333
その他の引当金	67	56
その他	544	458
固定負債合計	977	846
負債合計	99,449	104,414
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,040	2,040
資本剰余金	863	863
利益剰余金	78,597	83,022
株主資本合計	81,500	85,925
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	1,127	1,393
繰延ヘッジ損益	114	△ 474
評価・換算差額等合計	1,240	918
純資産合計	82,741	86,844
負債純資産合計	182,190	191,258

## 【損益計算書】

	(単位：百万円)	
	前会計期間 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当会計期間 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	599,359	499,349
売上原価	574,051	477,205
売上総利益	25,308	22,144
販売費及び一般管理費	12,886	11,380
営業利益	12,422	10,764
営業外収益		
受取利息	339	66
受取配当金	3,153	2,124
為替差益	101	130
雑収入	38	66
営業外収益合計	3,631	2,387
営業外費用		
支払利息	66	42
手形売却損	2	2
雑損失	51	57
営業外費用合計	118	100
経常利益	15,935	13,050
特別利益		
その他特別利益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
投資有価証券売却損	5	0
投資等評価損	878	371
その他特別損失	19	10
特別損失合計	902	381
税金等調整前当期純利益	15,032	12,671
法人税、住民税及び事業税	3,978	3,400
法人税等調整額	△ 132	△ 47
当期純利益	11,186	9,318

## 【商品別売上高比率】

部門	2021年3月期 (2020. 4. 1-2021. 3. 31)		2020年3月期 (2019. 4. 1-2020. 3. 31)		対前期増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
衣料素材部門	50,874	10.2%	66,023	11.0%	▲ 15,150	▲22.9%
繊維資材・物資部門	45,021	9.0%	57,129	9.5%	▲ 12,109	▲21.2%
アパレル部門	159,787	32.0%	174,428	29.1%	▲ 14,641	▲8.4%
樹脂・ケミカル部門	88,923	17.8%	115,299	19.2%	▲ 26,376	▲22.9%
フィルム部門	40,033	8.0%	37,773	6.3%	2,260	6.0%
複合材料・機材部門	64,005	12.8%	97,353	16.2%	▲ 33,348	▲34.3%
電子情報材料・水処理・環境部門	50,193	10.1%	49,600	8.3%	593	1.2%
合計（その他事業を含む）	499,349	100.0%	599,359	100.0%	▲ 100,010	▲16.7%

## 【形態別売上高比率】

形態	2021年3月期 (2020. 4. 1-2021. 3. 31)		2020年3月期 (2019. 4. 1-2020. 3. 31)		対前期増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
輸出	162,491	32.5%	197,079	32.9%	▲ 34,588	▲17.6%
三国間	175,947	35.2%	204,444	34.1%	▲ 28,497	▲13.9%
輸入	95,663	19.2%	112,612	18.8%	▲ 16,949	▲15.1%
国内	65,249	13.1%	85,224	14.2%	▲ 19,976	▲23.4%
合計	499,349	100.0%	599,359	100.0%	▲ 100,010	▲16.7%